

令和元年度第1回八千代市立郷土博物館協議会会議録

会議名 令和元年度第1回八千代市立郷土博物館協議会

日時 令和2年2月6日(木)

開会 午後1時30分

閉会 午後2時43分

会場 八千代市立郷土博物館学習室

議題 (1) 令和元年度八千代市立郷土博物館事業報告(中間) 資料1

(2) 令和2年度八千代市立郷土博物館事業計画(骨子) 資料2

(3) 令和元年度特別展「くらしのうつりかわり展 ～昭和と平成のくらし～」視察

出席者

委員 堀部 昭夫 元千葉県立現代産業科学館副館長

齋木 健一 千葉県立中央博物館生態学・環境研究部長

横地 清美 八千代市子ども会育成連絡協議会会長

田中 一成 八千代市立大和田南小学校長

事務局	八千代市教育委員会	教育長	小林 伸夫
		参事	蕨 成美
	文化・スポーツ課	主幹	西本 公威
	八千代市立郷土博物館	館長	清藤 一順
		主査補	押元 常德
		主任主事	川尻 修平
		博物館資料調査研究員	野中 政博
		博物館資料調査研究員	川名 瑞希

公開・非公開 公開

傍聴人 0人(定員5人)

会議録

開会

○押元主査補 定刻になりましたので、ただいまから、令和元年度第1回八千代市立郷土博物館協議会を開催いたします。八千代市立郷土博物館協議会運営規則第3条第2項により、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとあり、本日は5名中4名の委員のご出席をいただいておりますので、会議として成立しております。なお、当協議会会議は八千代市審議会等の会議の公開に関する要領第3条に基づき公開対象となっております。本日傍聴される方は、おりません。はじめに資料の確認をさせていただきます。机上に用意してあります。いずれも

A4版で、会議次第が1枚、資料1「令和元年度八千代市立郷土博物館事業報告（中間）」が両面刷り6ページ、資料2「令和2年度八千代市立郷土博物館事業計画（骨子）」が3ページです。ほかに、後ほどご案内させていただきます「くらしのうつりかわり展～昭和と平成のくらし～」のチラシと展示解説です。よろしいでしょうか。

○押元主査補 会議に入ります前に、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。資料1の1ページをご覧ください。

○事務局（資料の順に自己紹介）

○押元主査補 会議次第に従いまして進めさせていただきます。八千代市教育委員会教育長、小林伸夫より、ごあいさつを申し上げます。

1 教育長あいさつ

○小林教育長 皆様こんにちは。令和元年度第1回八千代市立郷土博物館協議会の開催に当たりまして、ごあいさつを申し上げたいと思います。委員の皆様には、公私ご多忙の中、ご出席を賜りまして、大変ありがとうございます。さて、この八千代市立郷土博物館は八千代市の自然・歴史・文化・産業などに関わる資料の収集・保管・管理・調査を行い、展示・公開などの普及・教育事業を通じて、これらを未来に継承するという基本的な役割を担っております。

本年度は八千代市におきまして組織改正がございまして、これまで学校教育が中心だった教育委員会が、市長部局にありました生涯学習関係の各課を含んだ組織となりました。その関係で、この郷土博物館の主管は、昨年度までは教育総務課でございましたけれども、本年度から文化・スポーツ課になったという経緯がございます。昨年度、博物館が文化庁の管轄ということになりました。また、2020年、今年はオリンピック・パラリンピックがございすけれども、この機会を活用した観光など幅広い分野での活動が期待されております。このような中、国の大きな流れの変化の中で、当館も新たな方向性を見据えて事業に取り組んでおります。本年度実施しております各事業に併せまして、来年度の事業計画につきましても事務局からご報告いたします。それから、現在開催中の「くらしのうつりかわり展～昭和と平成のくらし～」をご覧ください。委員の皆様には、より充実した郷土博物館となりますよう、相変わらぬご指導・ご助言をいただけますようお願い申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

2 委員長あいさつ

○堀部委員長 皆さんこんにちは。令和の2年ということで、今回は協議会の第1回目、元年度の1回目ということで協議会が開催されますが、委員の先生方におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。今日は、会議次第にもございすとおおり、報告及び審議事項といたしまして令和元年度の事業の中間報告、あと2か月で元年度も終わりますけれども、それが1件と、令和2年度の事業計画、これが提出されていますので、ご審議のほどよろしくお願いたします。

○押元主査補 それでは、次第3の報告及び審議事項に移ります。協議会運営規則第3条第1項により、ここからは堀部委員長に議長をお願いいたします。

3 協議

(1) 令和元年度八千代市立郷土博物館事業報告（中間）

- 堀部委員長 それでは、次第3の報告及び審議事項に移ります。最初に(1)「令和元年度八千代市立郷土博物館事業報告（中間）」について、事務局からお願いいたします。
- 清藤館長 それでは、報告及び審議事項の(1)「令和元年度八千代市立郷土博物館事業報告（中間）」について、ご報告申し上げます。
- 事務局（清藤館長・川尻主任主事・押元主査補・川名研究員・野中研究員）（資料1をもとに説明）以上です。
- 堀部委員長 ただいま事務局の方から報告のありました件につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。
- 斎木委員 先ほど、企画展示を3回のところを2回となったことに関してですが、昨年の資料と比べますと、2人減ってますか。先ほど学芸担当が1人ということでしたが、昨年の資料を見ると2人減っているようですけども。
- 清藤館長 1名は事務の方ですね。
- 斎木委員 学芸担当が去年の資料を見ると常松さん、阿部さん、押元さんということになって、庶務が1人減って・・・中央博も人は減って、でも働き方改革ということで残業もしづらいということで、大変ご苦労なさっていると思うんですけども、そのあたりどのような工夫をしているのですか。
- 清藤館長 できることをやるしかない。現有で残っている職員が発揮できる分野について重点的にやっていくということと、できる限り館長がカバーするという事しかないと思います。
- 斎木委員 それにもかかわらず利用者数が増えている要因は。
- 清藤館長 博物館の事業というのは、やはり単発的なのか何かやったら、いいものをやったら即やった内容が数字に反映されるものではないと思うんですね。特に博物館の利用者数というのは、長い間に積み重ねた実績がどれだけ市民の方に浸透して、その結果として博物館に馴染んでいただけるかということなんですよ。ですから、今年増えたからいいことをやったとか、今年減ったから内容が悪かったという問題ではなくて、過去何年間かいかにか地道に市民に対して訴えてきたのか、それが大事だと思うんです。ですから、今年1,500人か1,000人くらいか増えるかもしれませんけど、だからといって去年よりすごかったかということではなくて、やはり、これまでの結果ということだと思います。したがって、恐ろしいのは、3人が2人になったということは、当然のことながらやれる範囲が狭まるわけですから、それは何年後かに必ず数字として反映される、逆に減っていくというのが、我々としては恐ろしいところであります。
- 横地委員 2ページにある資料保存の昆虫トラップについて、燻蒸しないで餌も仕掛けないで通るだけの虫を捕まえてみたということですが、それで大丈夫なんですか。
- 清藤館長 どれだけの虫が生息しているかの調査を行っているわけです。先ほど申しましたとおり、ゴキブリホイホイみたいなもので餌のないものを自然に置くわけですね。それが生息している虫を調べる一つの方法なんですね。もう1つは、フェロモンを出して、そこに飛んでる虫なんかを集めてくるというやり方もあります。ですから、調査のやり方としていろいろな方法があるんですけども、そこにいる虫を知る方法としてそういうやり方を使っているということな

んですね。生息している虫をゴキブリホイホイのように集めて殺すということではなくて、いる虫を把握しようという調査の仕方なんです。とんでもない種類、とんでもない害虫、例えば文化財害虫、文化財に直接影響するような害虫と、嫌だけど文化財にはあまり影響がない虫などがいるわけですね。そこに引っかかった虫といいますか、そういったものを分析しながら、これは文化財にとってまずいからなんとか撲滅しないといけないとか、というようなことを考えないといけない。今のところ、文化財にまずい害虫というのは全くいないとは言いませんけど、本当に微々たるもので比較的嫌なダンゴムシであるとかハエであるとかムカデ、ゲジゲジであるとか、そういったものがたまに引っかかりますけど、文化財にとってまずいというような、特別に燻蒸するとか殺虫するという段階にはないと思っています。

○堀部委員長 難しいですねえ。

○横地委員 昔の紙とか、虫が食うんじゃないかって、すぐ思っちゃうんですけど。

○堀部委員長 昔は、薬剤を使ってね、殺虫ガスを館内に吹き込んでやってたんですけども、そのとき使ってた薬剤が禁止薬剤になっちゃった。私がまだ勤めていた頃には、それに変わる薬剤がまだできていないという話だったんですけども、今もまだ効率的なものはないですか。

○清藤館長 中央博では毎年やっていると思うんですけども…

○齋木委員 中央博でも毎年は行っておりません。薬剤は使った後に空気中に捨てますので、環境汚染につながるので、できる限り減らそうと、日頃から虫が入らないようにしようというのが今の博物館の流れの中の主流です。で、先ほどのゴキブリホイホイみたいなものっていうのを、うちの博物館でもやはり置いてます。置いて常に検査をすると、で、餌を入れてしまうと、その餌の好きな虫しか集まらないので、何もないものとランダムに何でも引っかかるということをやっています。かなり確実に、ただ置くだけでも危ない害虫が来たときには確実にそれが分かるようになっているようです。

○堀部委員長 ありがとうございます。その他に何かございますか。

○田中委員 まず1点目です。人員が減ったということの中で、学校連携ということで職員の方を派遣いただきまして、授業の方をさせていただきまして、学校現場としては大変助かっております。やはり、具体物を実際に学校まで運んできていただき、子ども達に触らせていただき、そして体験までさせていただき、本校も昨日、火のしを体験させていただいて、先日は少年自然の家の方まで来てくださって、火起こしや勾玉作りなどをさせていただきました。本当になくしてはならない貴重な体験をさせていただいて感謝しております。人員がこれ以上減らないことを望んでおります。また、学校現場の方にも引き続き来ていただけることを望んでおります。2点目となります。収集資料の方で、古文書がかなりあると思われませんが、こちらの方は、紙というのはやがて虫に食われたりして長い間持つかどうかという心配が懸念されるんですけども、こういうものをデータベースとかにはしてはいるんでしょうか。また、もししてないようでしたら、今後する予定はあるんでしょうか。教えていただけたらと思います。

○野中研究員 古文書に関してなのでですけども、今のところ解読者も少ないものでして、まだ目録を作成中なんです。それができてないと、例えばデジタル化と申しますか、写真化ですよ。そういったことができないという状況にありまして、将来的には、今のところは古文書の修補を行って、これ以上虫が食わないようにクリーニング作業ですとか、あと、虫損直しという修補を施してまして、耐えている、これ以上進まないように作業を進めているというところがございます。

- 堀部委員長 よろしいですか。今の（田中）先生の話に関連するんですけどもね、この博学連携の表の中を見るとね、小学校・中学校の児童・生徒が来館しているんですよ。出前授業で聞いているだけじゃなくて、博物館に来ている。その数が1,000人です。かなり大きいですよ。子ども達が1,000人ここに見に来てくれる。それとは直接関係ないんですけども、資料の2ページのところにですね、資料の貸与、これどんな物の希望が多いんですか。学校の方からの資料の貸与、貸してくださいという物。
- 押元主査補 大きく2点ございます。1点目は、写真や地図など、そういった昔の様子分かる物です。学校で教える内容が書かれている指導要領が来年度から正式に変わるんですけども、そういった物を必要とする授業が今後増えていきます。その点で、先進的に取り組んでいる学校から数多くご相談いただいて、資料を貸しています。もう1点は、物です。実物です。授業に即して使えるような物をお借りしたいということで依頼が来ております。
- 堀部委員長 物って何ですか。どんな物。
- 押元主査補 例えばですが、石臼だったり、足踏み式の脱穀機だったり、今の世の中には出回っていないんだけど、子ども達に体験させたいような物、そういった物です。授業で生かせる物です。
- 堀部委員長 それを学校は借りて行って、どうしているんですか。実物、例えば石臼、それを先生が回して物をひいて、こういうふうにはひいて穀物が粉になるんだってことが見せられるんですかね。先生方は実際そういうことができるから借りてくんですよ。
- 川尻主任主事 はい、貸すのを担当したのですが、実際授業で大豆を子ども達はひいて、きな粉をつくと、そして、ちょっとなめて味わったと聞いています。
- 田中委員 今回の件に対して、石臼を使ったのは本校で、使い方も丁寧に教えていただきまして、実際に大豆は校庭で育てた物です。1年生・2年生の生活科で育てた大豆を実際に使いました。それをひいたら、きな粉の香りが非常に立ってきました。子ども達は、やっぱり買ったきな粉とは違くと、すごい本物の香りを、いい香りを直接嗅ぐことができましたので、いい体験をさせていただきました。
- 堀部委員長 ああそうですか。こんなことを言うと失礼になるかもわからないけど、学校の先生で今の若い先生方、石臼って言われて物が頭の中に浮かぶ先生もいるでしょうけど、大半の先生は石臼って何だ。じゃあそれをどうやって使うんだってことになってくると、経験がないんでね、ちょっと気になったものですかからお聞きしたんですけど、確かにひきたてはおいしいですよ。
- 田中委員 使い方も丁寧に説明していただけますので、職員も、初めてでも使いこなすまですぐいきます。
- 堀部委員長 そうでしたか。分かりました。その他いかがでしょうか。
- 横地委員 私は社会教育団体なんですけれども、今年の夏に少年自然の家で私が住んでいるところの子ども会のキャンプのときに勾玉作りに指導で来ていただきまして、子どもが70人くらいだったんですけども、スタッフの方が、博物館の職員の方プラス学生さん、4・5人いらしてくださいまして、7月の22日だったか23日だったか、私も初めて作りました。とっても面白かったです。こういうのは、もっと簡単にできますよって、短時間でもけっこうできちゃうので、PRしていただけたら、もっともっとやってみたいという人が増えるだろうと思います。今回の広報に村上公民館で300円でやれますっていうのが水曜日、市教研ですか。この日は子どもがどうやって行くんだろうなって思ったんですけども、市教研の日だったら、それはそれで

いい案かなって、子どもは習いごとに行っていないので、土曜日だと習いごとで行けない子どもが多いので、終業式の日とか市教研って、けっこういい手だなと思いました。

○堀部委員長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。特にごさいませんようでしたら、次に移りたいと思います。(2)の令和2年度八千代市立郷土博物館事業計画(骨子)について、事務局の方からご説明をお願いします。

(2) 令和2年度八千代市立郷土博物館事業計画(骨子)

○事務局(清藤館長) (資料2をもとに説明)以上です。

○堀部委員長 ありがとうございます。ただいま事務局より説明のありました件について、質問等ありましたらお願いします。

○田中委員 私も、以前文化財散歩に参加させていただいたことがあります。こちらに参加して、知らなかったこと、また、普段目にしていただけのだけでも、それがどんな歴史的な意味があるのかということも分からなかったことを教えていただきました。当時、子どもと一緒に参加させていただいたんですけれども、子どもの方も歴史に興味を持ちまして、有意義な時間を過ごすことができました。こういうことをどんどん進めていっていただき、八千代市の素敵なところを発見できる子ども達を育てていってほしいなと思っています。また、八千代市は昔と比べて随分宅地化が進みまして、自然の方も減ってきております。そういう意味で動植物の標本類と自然関係資料を保存・継承とありますけれども、こちらの方も是非とも続けていってほしいなと思います。一度失われてしまったものは、二度と取り戻すことはできませんので、残せるものは残していけたらと思っています。また、どうしても残せないものがありましたら、資料として後世に残していっていただけたらと思っています。以上です。

○堀部委員長 ありがとうございます。ちょっと一つよろしいですか。この事業計画ということで、先ほどまだ新年度予算も人事の関係も、いろいろな条件がまだ固まっていない中での事業計画ということですが、そういう条件がクリアされた場合に、何か追加されることはあるんですか。

○清藤館長 追加というよりも内容の検討はあります。

○堀部委員長 分かりました。どうですか。

○斎木委員 どちらかというと、要望というか希望ということなんですけれども、私自身が古い学校に残された古い資料や古い標本の収集・整理というのを始めています。八千代市は博物館と学校との関係が密のようですので、学校の統廃合というよりも建て替えのときに古い資料が失われるというのがよく知られています。なので、何かのときに学校の方でもこれはもしかしたら郷土のための大切な物ではないかというときに、博物館と連携を取るような意識を皆さんで醸成していただけたらと思います。

○堀部委員長 教育長さんにお伺いしたいんですけれども、今、八千代の市内で校舎の改築っていうような事例はあるんですか。これから。木造の校舎の学校って今はないですね。

○小林教育長 そうですね。中が木でできている教室っていうのは、阿蘇小とか古い学校がございませうけど、ほとんどはコンクリートのタイル貼りの校舎ですので、施設そのものを改築して古い物が出てくる学校はないかなと思いますし、その予定も今のところありません。

○堀部委員長 はい。この博物館ができる前は、ここが木造の村上小だったんですよ。あの当時だったら学校の中に何かあったかもわかんないですね。今はほとんど鉄筋コンクリートの校舎に変わっちゃったですね。他に先生方ございますか。よろしいでしょうか。では、特にございませ

せんので、報告及び審議事項については終了と致したいと思います。委員の先生方、どうもありがとうございました。次、その他に移りますが事務局の方でございませうか。

○清藤館長 ございませう。

○堀部委員長 事務局の方でもないようですので、「くらしのうつりかわり展」の視察ということに移りたいと思います。それをご覧になった後に解散ということに致したいと思います。それでは、本日の協議会はこれにて散会と致したいと思います。ありがとうございました。事務局の方、お願いします。

閉会（午後2時43分）

（3）令和元年度特別展「くらしのうつりかわり展～昭和と平成のくらし～」視察

解散（午後3時40分）